

池田泉州ホールディングス 決算レポート

業績 *High Light* 第4次中期経営計画の進捗

2019年度 第3四半期の純利益は35億円
(通期計画40億円に対し順調に進捗)

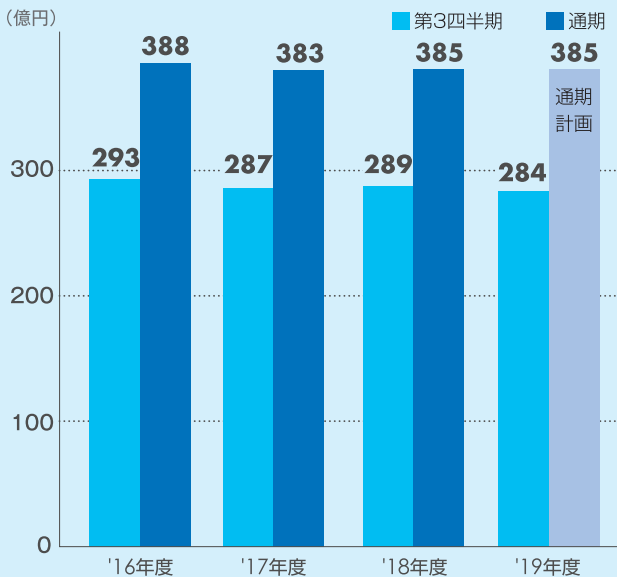
預貸金収支

(預金と貸出金の利ざやから得られる利益)

第3四半期の預貸金収支は

284億円

(前年同期比▲5億円)



・マイナス金利政策の長期化により、貸出金利息は減少傾向にあるが、預貸金収支の計画達成に向けてメイン化推進等に注力していく

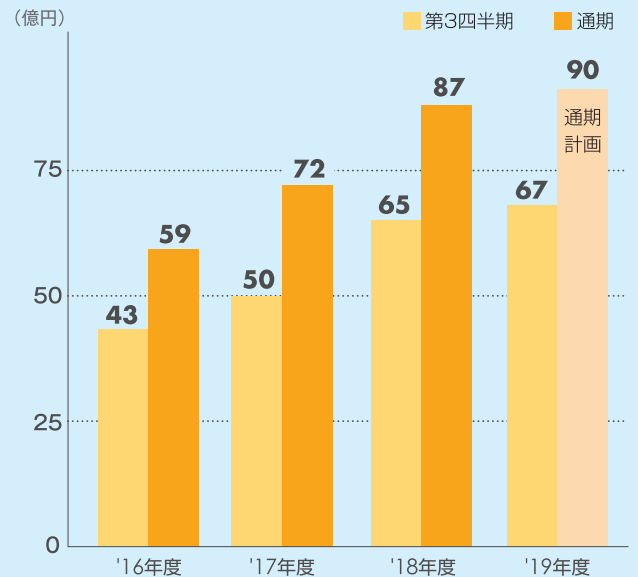
非金利収益

(個人・法人手数料等)

第3四半期の非金利収益は

67億円

(前年同期比+2億円)



・個人の預り資産販売や有料職業紹介等の非金利収益増強に注力
・2019年度第3四半期においても、計画どおり進捗しており、年度計画(90億円)の達成を見込む

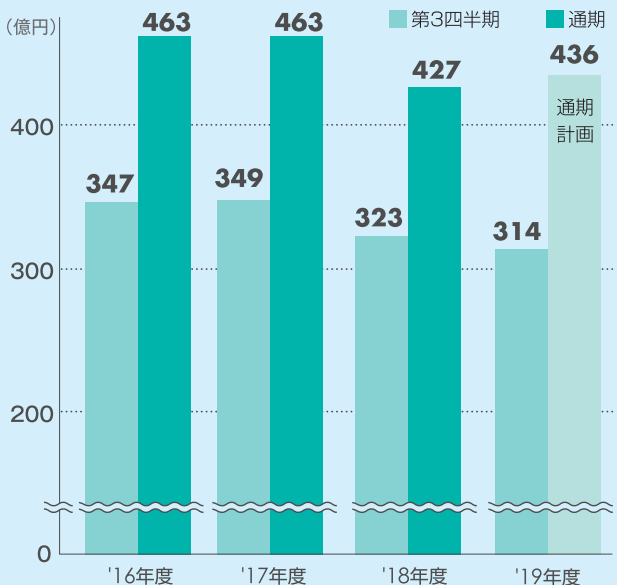
経費削減の進捗

(人件費・物件費等)

第3四半期の経費は

314億円

(前年同期比▲9億円)



・2018年度より経費の抜本的な見直しに着手、本年度ももう一段の経費抑制を進めている
・2019年度通期においても、年度計画の経費(436億円)を下回る形での着地を見込む

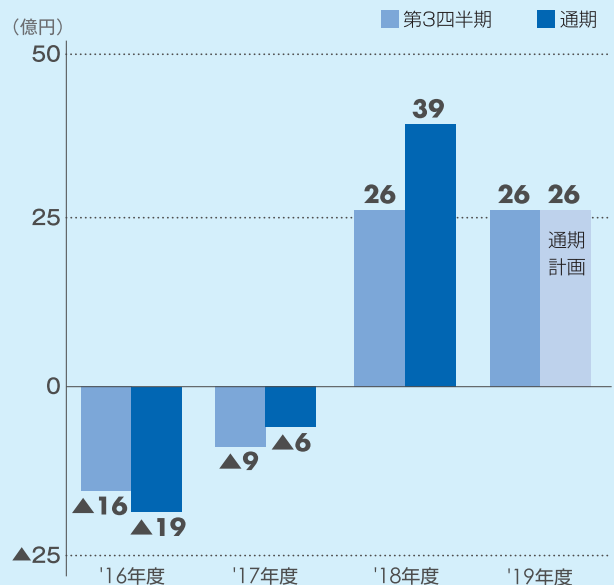
本業利益*の状況

(お客さまとの取引から得られる利益)

第3四半期の本業利益は

26億円

(前年同期比横ばい)



・預貸収支は弱含むも、非金利収益の増強、経費の更なる抑制により、本業利益は着実に改善し、第3四半期(9ヵ月)で、年度計画の水準(26億円)を達成
・2019年度通期においても、年度計画以上の着地を見込む

※貸出残高×預貸金利回り差+役員取引等利益-営業経費